

# 令和2年度第3回千葉市救急業務検討委員会

## 指令管制に関する専門部会

日時：令和3年1月25日（月）

19時00分～20時00分

場所：千葉市消防局（セーフティーちば）

7階 作戦室

### 次 第

- 1 開会
- 2 議事概要報告  
「令和2年度第2回千葉市救急業務検討委員会指令管制に関する専門部会」議事概要
- 3 議題  
議題1 指令管制業務における事後検証の実施要領について  
議題2 指令管制員の救急に係る教育の課題抽出について
- 4 その他  
令和3年度第1回指令管制に関する専門部会の開催予定について
- 5 閉会

# 令和2年度第2回千葉市救急業務検討委員会

## 指令管制に関する専門部会

### 議 事 概 要

1 日 時 令和2年11月16日（月） 19時00分から20時00分まで

2 場 所 千葉市中央区長洲1丁目2番1号  
千葉市消防局（セーフティーちば）7階 作戦室

### 3 出席者

(1) 部会員（5人）

安部 隆三部会長、松村 洋輔部会員、赤石 江太郎部会員、宮崎 晃行部会員、  
森田 泰正部会員

(2) 事務局

石川警防部長、亀山救急課長、新濱救急課長補佐、田端高度化推進係長、  
小西司令補、玉井士長、外間士長

(3) オブザーバー

奈良担当課長、加藤主査、坂本総括指導救命士

### 4 会議内容

(1) 議題

ア 議題1 指令管制業務における事後検証の実施要領について

イ 議題2 指令管制員の救急に係る教育の課題抽出について

(2) その他

「令和2年度第3回千葉市救急業務検討委員会指令管制に関する専門部会」の開催予定について

### 5 議事概要

(1) 議題1 指令管制業務における事後検証の実施要領について

ちば消防共同指令センターの管轄である7MCのうち、千葉MC以外の6MCに提案する口頭指導に関する事後検証の実施要領及び今後の流れとスケジュールについて、資料及び参考資料を用いて事務局から説明があった。

検証方法については、全ての対象事例において二次検証を実施することで承認された。

また、千葉市消防局警防部救急課員が千葉県危機管理部消防課及びちば消防共同指令センターの管轄である7MCのうち、千葉MC以外の6MCの各地域MC協議

会事務局消防本部に出向し、口頭指導に関する事後検証の実施方法について説明することとなった。

(2) 議題2 指令管制員の救急に係る教育の課題抽出について

ちば消防共同指令センターの指令管制員教育について、資料及び参考資料を用いて事務局から説明があった。

指導者として教育に携わっている、千葉大学医学部附属病院救急科集中治療部の医師からの意見を参考に課題を抽出した。来年度から教育カリキュラムに関与するために、今年度は問題点を抽出して、今後も議論することとなった。

# 議題1

## 指令管制業務における事後検証の実施要領について

### 議案要旨

過去2回の専門部会において事後検証の実施要領について検討していただきましたが、令和3年4月から運用開始するため、令和3年2月に実施される千葉市救急業務検討委員会に上程する最終案について、御審議をお願いいたします。

- 資料1 検証票
- 資料2 □頭指導に関する事後検証の概要（案）

## 第2回専門部会終了後の審議経過の周知について

ちば消防共同指令センターの管轄にある7MCのうち、千葉MC以外の6MCの各地域MC協議会事務局消防本部（局）

千葉MC

市原MC

印旛MC

君津MC

東部MC

山武長生MC

南房総MC

千葉県防災危機管理部消防課

12月上旬に出向して、口頭指導に関する事後検証の実施方法について説明した。



千葉MC以外の6MCから理解を得られた。

### 【6MCから出た意見】

- 協力できることがあれば、ぜひ協力したい。
- 指令管制員の教育は重要であると認識している。
- 実際の通報の音声を聞きながら検証する方式は、非常に効果的である。
- 千葉市発生の事案であっても、全指令管制員を対象にすることで、全体のレベルアップにつながるこの方式は効果的である。
- ちば消防共同指令センター派遣候補者の研修のために、フィードバックの内容を通知してほしい。

千葉市消防局口頭指導事後検証実施要領に反映する。

# □頭指導に関する事後検証の実施要領（事務局案）

## □頭指導に関する事後検証体制

### 対象事例

千葉市内で発生した救急事例（PA連携出動も同様）で、救急隊が専門部会員の属する医療機関に搬送したもののうち、以下のいずれかの項目に該当するもの（出動隊は千葉市の救急隊とします。）

- 1 通報受付時に心肺停止として認識できなかった事例
- 2 収容医療機関の医師が要検証とした事例
- 3 指令管制員が要検証とした事例
- 4 救急隊員が要検証とした事例

※専門部会員は、ちば消防共同指令センター常駐医師として勤務しています。

### 事後検証区分

- 一次検証・・・ちば消防共同指令センター内で実施
- 二次検証・・・専門部会員の属する医療機関で実施
- フィードバック・・・ちば消防共同指令センター指令管制員に対して実施

### 事後検証員

- 一次検証員：各班長、副班長を中心とした各班指令管制員
- 二次検証員：専門部会員が属する医療機関で、ちば消防共同指令センター常駐医師として勤務する医師

### 検証票及び検証結果票

#### 資料1

- ※専門部会員の属する医療機関
- ・千葉大学医学部附属病院
  - ・千葉県救急医療センター
  - ・あかいし脳神経外科クリニック
  - ・みつわ台総合病院
  - ・千葉市立青葉病院

## イメージ図

ちば消防共同指令センター指令管制員が対象事例となる119番通報を取り扱った。  
1班19人体制×4班

《検証票作成》

指令管制員は検証票を作成する。

《一次検証》

検証票を基にちば消防共同指令センター内で一次検証を実施する。

《二次検証》

一次検証終了後、専門部会員が属する医療機関に二次検証を依頼する。

《フィードバック》

全班で検証結果票の内容を共有し、教育訓練についての課題を抽出する。

《教育訓練の実施》

課題を反映させた教育訓練を実施する。

## スケジュール

令和3年 2月●●日 第3回千葉市救急業務検討委員会（専門部会での活動報告及び専門部会案を上程）

（上記委員会で承認された場合、改めて千葉市救急業務検討委員会委員長から各地域MC協議会会長宛てに書面を送付予定）

令和3年 4月 1日 □頭指導に関する事後検証の運用開始

検証票

受付日		年	月	日	覚知種別	救急事案番号
災害住所	発生場所区分	( )			検証対象区分	
種別	出動救急隊	他隊連携		収容医療機関		
通報内容		年齢	歳	性別	外部スピーカー	その他 (理由: )
		担当職員				
		救急資格				
		備考				
受付	受付時刻	受付から 指令までの 時間	0:00:00	( )		
	指令時刻			( )		
状況 確認		受付 からの 時間	0:00:00	( )		
			0:00:00	( )		
			0:00:00	( )		
			0:00:00	( )		
指導 内容		受付 からの 時間	0:00:00	( )		
			0:00:00	( )		
			0:00:00	( )		
			0:00:00	( )		
			0:00:00	( )		
その他必要事項について						

検証 結果 票	担当班	第	班	検証員	検証日	年	月	日	
	傷病者の状況把握について								
	実施した口頭指導について								
	受付～出動指令までの時間について (参考値 1分20秒)								
	受付～口頭指導までの時間について (参考値 1分40秒)								
	バイスタンダー実施者について								
	その他必要事項について								
二次 検証	医療機関		医師名		検証日	年	月	日	
	傷病者の状況把握について								
	実施した口頭指導について								
その他必要事項について									
フィード バック	担当班	第	班	検証員	実施日	年	月	日	
	フィードバック内容								

## 口頭指導に関する事後検証の概要（案）

## 【体制】

一次検証：指令課

二次検証：医師

## 【分掌】

事後検証全般の総括：指令課長

一次検証の掌理：指令課担当課長

会議の庶務：指令課指令班

## 【事後検証会議】

議長：指令課担当課長

検証員：指令課から指令課長が指名

## 【方法】

- ① 収容医療機関の医師、指令管制員、救急隊員が対象事例として認識
- ② 救急隊員は専門部会員の属する医療機関（以下、医療機関）に通知文書（既存の傷病者等観察記録票を流用）を手交
- ③ 担当医師が署名
- ④ 救急隊員は署名済みの通知文書を受領
- ⑤ 救急隊員は帰所後に通知文書をスキャニングし、指令課にメール送信
- ⑥ 指令課はメール送信された通知文書を確認、対象事例の音声データを取り置き
- ⑦ 指令課は検証票の作成  
（その都度、対象事例に関する事後検証会議を開催して検証票の一次検証結果欄を作成）
- ⑧ 指令課は月初めに前月分の対象事例を取りまとめ、署所に確認
- ⑨ 指令課は救急課に対象事例を通知
- ⑩ 救急課は医療機関に対象事例を事前通知
- ⑪ 救急課は救急活動事後検証と併せて支出事務
- ⑫ 指令課は前月分に実施した事後検証会議の検証票を医療機関に送付
- ⑬ 医療機関は対象事例を認識、必要であれば常駐医師勤務日に音声データを確認し、検証票の二次検証結果欄を作成
- ⑭ 医療機関は検証票を指令課に送付
- ⑮ 指令課は返却された検証票を共有し、検証票のフィードバック欄を作成
- ⑯ 一定数の検証結果が蓄積したら、指令課（救急課）は各MCに通知

※ 後日、事後検証事例に該当した場合は、②から実施

## 議題2

### 指令管制員の救急に係る教育の課題抽出について

#### 議案要旨

例年、指令管制員の救急に係る教育修了後に指令管制員に対して、教育内容に関するアンケートを実施し、結果を次年度の教育カリキュラム構築の参考としています。

今回、このアンケートの実施方法及び新たに追加する項目について、御審議をお願いいたします。

資料1 頭指導訓練実施後アンケート用紙

# アンケート内容と実施方法（事務局案）

指令管制員の救急に係る教育カリキュラム（総時間数：15時間30分）

	項目教育	科目	教育時間
座学教育	知識確認	プレテスト	60分
		ポストテスト	90分（45分×2）
	医学基礎教育	解剖・生理	45分
		心停止に至る病態	45分
		心肺蘇生法・AED	45分
		その他口頭指導対象病態	45分

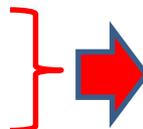
	項目教育	科目	教育時間
座学教育	救急指令管制実務教育	救急業務における指令管制員の役割	60分
		緊急度・重症度識別	90分（45分×2）
		口頭指導要領	45分
		地域特性	45分
		緊急度・重症度識別	120分（40分×3）
実技教育	救急指令管制実務教育	口頭指導要領	120分（40分×3）
		総合訓練	180分

例年、教育カリキュラムの全課程が修了後、各班で検討会を実施している。



指令管制員の教育カリキュラムに関するニーズを詳細に把握し、次年度以降の教育に関与するために、

- 1 例年、各班ごとに検討している項目
- 2 新たにカリキュラムの内容についての設問項目



左記1 および2のアンケート（事務局案）を指令管制員個別に実施したい。

## 口頭指導訓練実施後アンケート

指令管制員業務経験年数 \_\_\_\_\_ 年目

【1年目の方】  
今回初めて訓練を実施しての感想

今後の要望

【2年目以降の方】  
過去の訓練と比べて良かった点や悪かった点

今後の要望

1. カリキュラムの内容  
時間数を増やしてほしいカリキュラム

時間数を減らすことが可能であると感じたカリキュラム

変更してほしいカリキュラム

2. プレテスト  
問題数について

難易度について

3. ポストテスト  
問題数について

難易度について

4. 常駐医師の講義について

5. 総合訓練について